

はじめに

IPMI Web UI を使う事でホストのコンソール画面に接続、リモートから操作が可能になります。ESXi の DCUI や ESXi Shell などがリモートから使用でき、トラブルシューティングの時に役に立ちます。この IPMI Web UI のコンソール接続には、以下 2 つの手法があります。

- [iKVM/HTML5 コンソール](#)
 - HTML5 を使用したコンソール
 - HTML5 に対応したウェブブラウザで使用可能
 - G5 以降のプラットフォームであれば使用可能
- [Java iKVM Viewer^{*1}](#) (G5 より前の NX プラットフォームにも対応)
 - Java Web Start を使用したコンソール
 - 全てのプラットフォームで対応
 - 利用する端末にあらかじめ JRE(JRE7 か JRE8^{*2*3})のインストールが必要

*1 正常に起動しない場合、[Java iKVM Viewer の起動に失敗する場合の確認項目](#)をご確認ください。

*2 JRE8 のご利用にさいしてはあらかじめ Java8 のライセンスについてご確認をいただきますようお願いします。

*3 Java Web Start は Java 9 以降では deprecated となりまた Java 11 にて廃止されており、いずれも Java iKVM Viewer にはご利用頂けません。

加えて、IPMI Web UI からホストに ISO イメージをマウント、アクセスができます。

- [IPMI Web UI から ISO イメージをマウントする](#)
- [Java iKVM Viewer から ISO イメージをマウントする](#)

ISO イメージのマウントは SATADOM 交換後など、ホスト起動する用途でご利用いただけます。

[付録：ISO イメージでホストを起動する手順](#)

本 FAQ では、それぞれの手順について説明いたします。

iKVM/HTML5 コンソールの起動手順

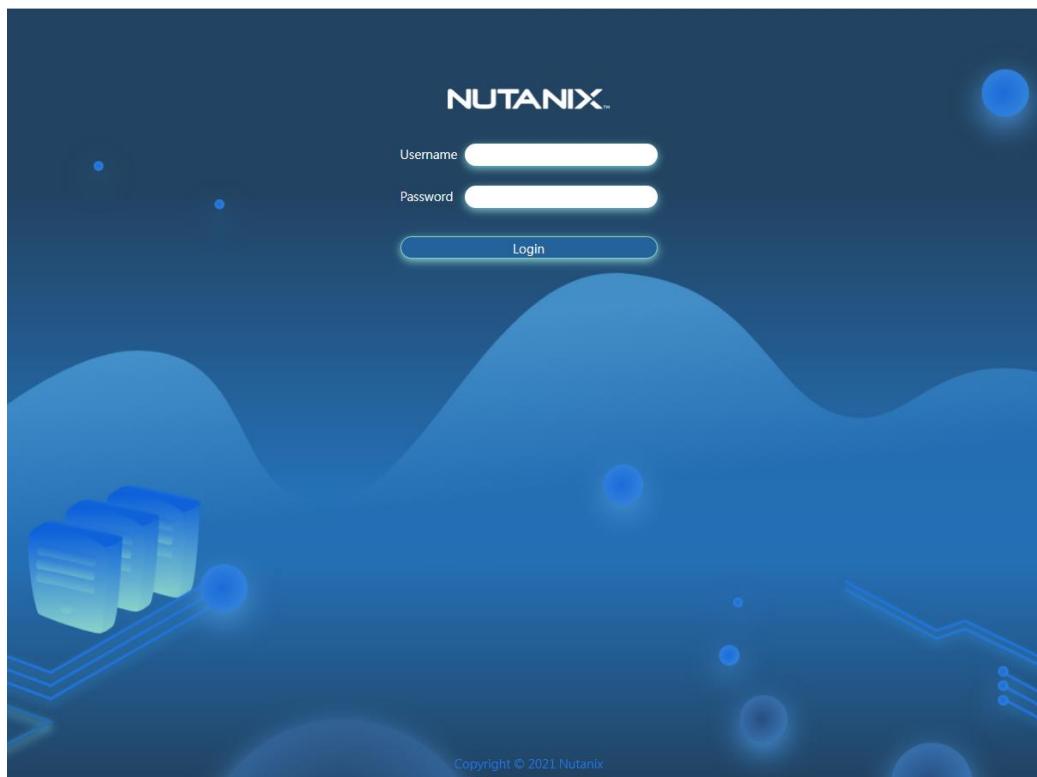
1. Web ブラウザから IPMI の IP アドレスにアクセス、IPMI Web UI にログオンします。

デフォルトのユーザー/パスワードは「ADMIN/ADMIN」です。

<G7 以前>



<G8>



2. “Remote Control” の “iKVM/HTML5” を開きます。

<G7 以前>

NUTANIX

Host Identification
Server: 010.150.034.083
User: ADMIN (Admin)

System Server Health Configuration Remote Control Virtual Media

System FRU Reading Hardware Information

Summary

Console Redirection

iKVM/HTML5 (highlighted by a red box)

Power Control

Launch SOL

Firmware Revision : 03.35 BMC MAC address : ac:1f:6b:1c:74:6c
Firmware Build Time : 09/09/2016 System LAN1 MAC address : ac:1f:6b:1c
BIOS Version : GST-1.32 System LAN2 MAC address : ac:1f:6b:1c
BIOS Build Time : 08/19/2016
CPLD Version : 03.a1.30
Redfish Version : 1.0.0

<G8>

NUTANIX

Dashboard System Configuration Remote Control Maintenance

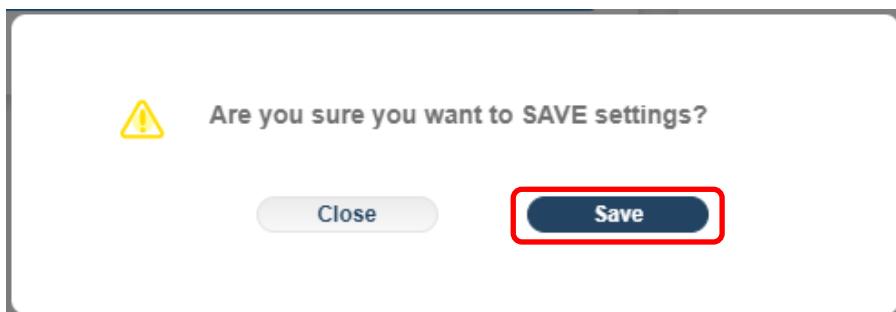
Launch Console

Current Interface JAVA plug-in HTML5 (highlighted by a red box)

Mouse Mode Set Mode to Absolute (Windows, Ubuntu, RH6.x later)
 Set Mode to Relative (other Linux distributions)
 Single Mouse Mode

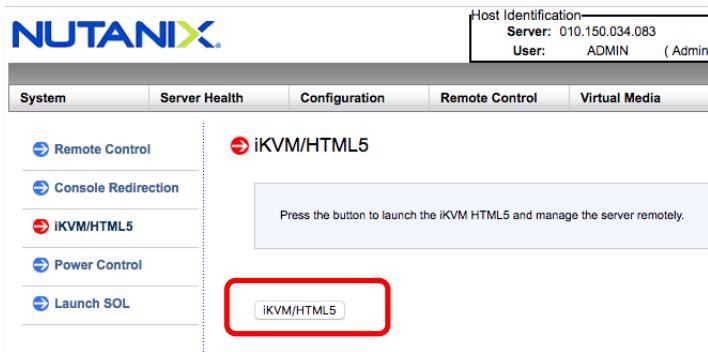
Launch Console

JAVA plugin-in から HTML5 へ切り替えた場合、下記ダイアログが表示されるので Save を押します。

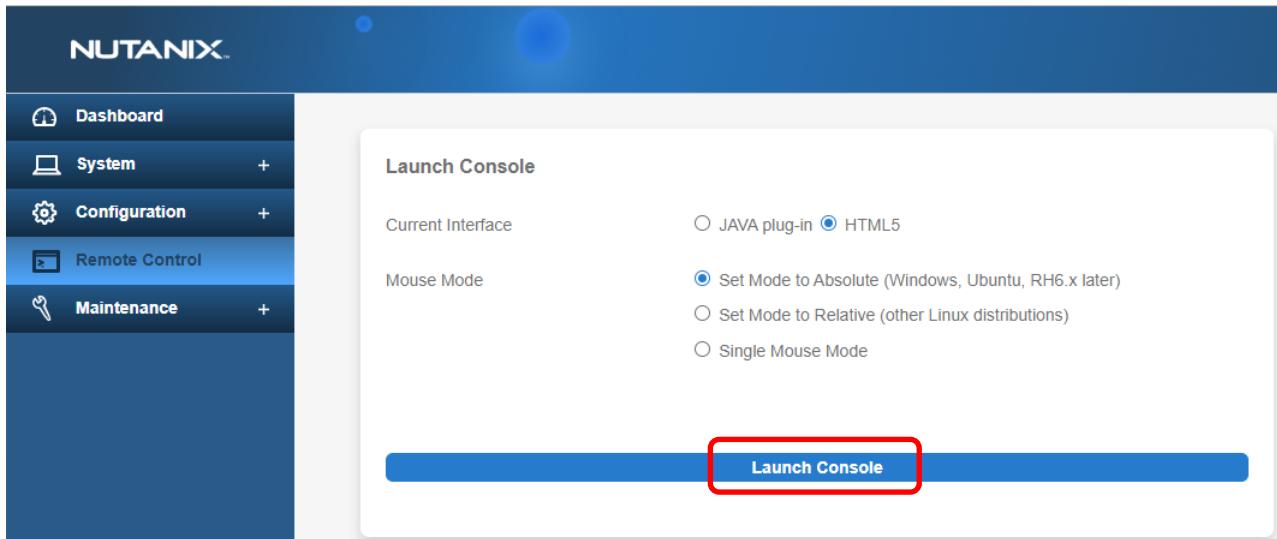


3. 赤枠のボタンを押します。

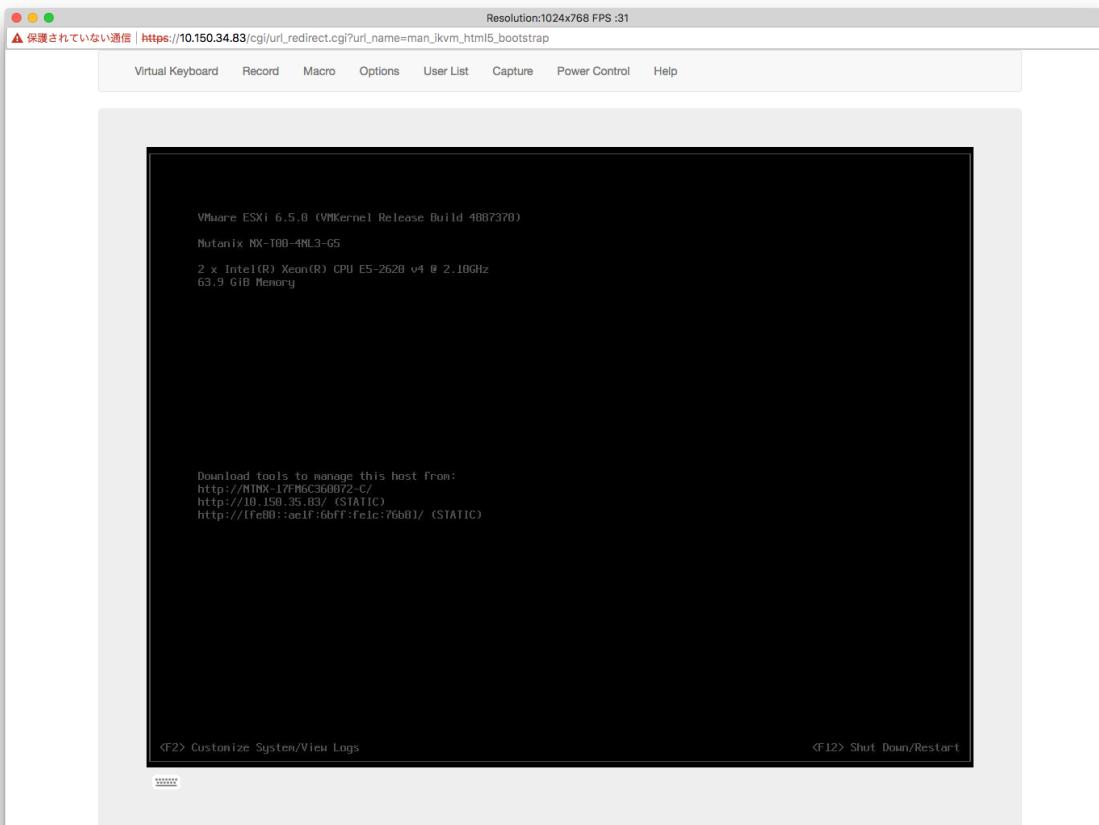
<G7 以前>



<G8>



4. iKVM/HTML5 コンソールが起動します。



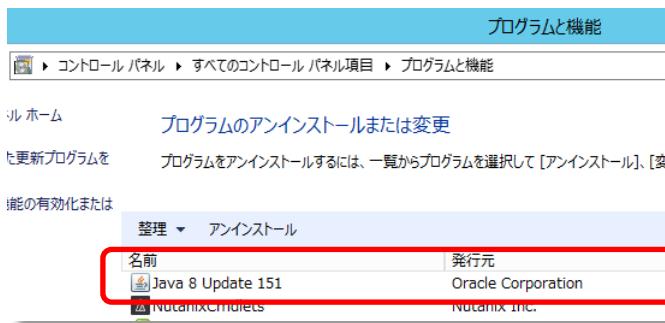
Java iKVM Viewer の起動手順

1. ご利用の端末に Java がインストールされていない場合はインストールします。

(1) インストール状況の確認方法

Java がインストールされている場合は以下のように表示されます。

・ Windows 端末（プログラムと機能）



・ Mac OS X 端末（システム環境設定）



(2) インストールされていない場合は以下のサイトよりダウンロードし、インストールします。

全オペレーティング・システム用の Java のダウンロード

<https://www.java.com/ja/download/manual.jsp>

(3) インストール後はステップ(1)の確認方法でインストール状況をご確認ください。

2. Web ブラウザから IPMI の IP アドレスにアクセス、IPMI Web UI にログオンします。
3. ホストのコンソール画面のプレビューが表示されている赤枠の箇所をクリックします。

<G7 以前>

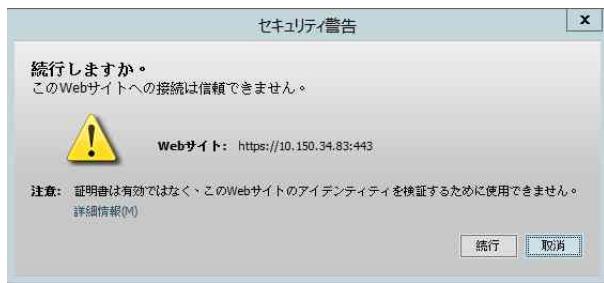
<G8>

(1) Windows 端末の場合

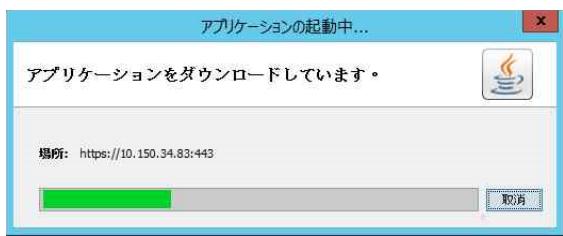
- Java が起動します



- セキュリティ警告が表示された場合は、"続行" を選択します



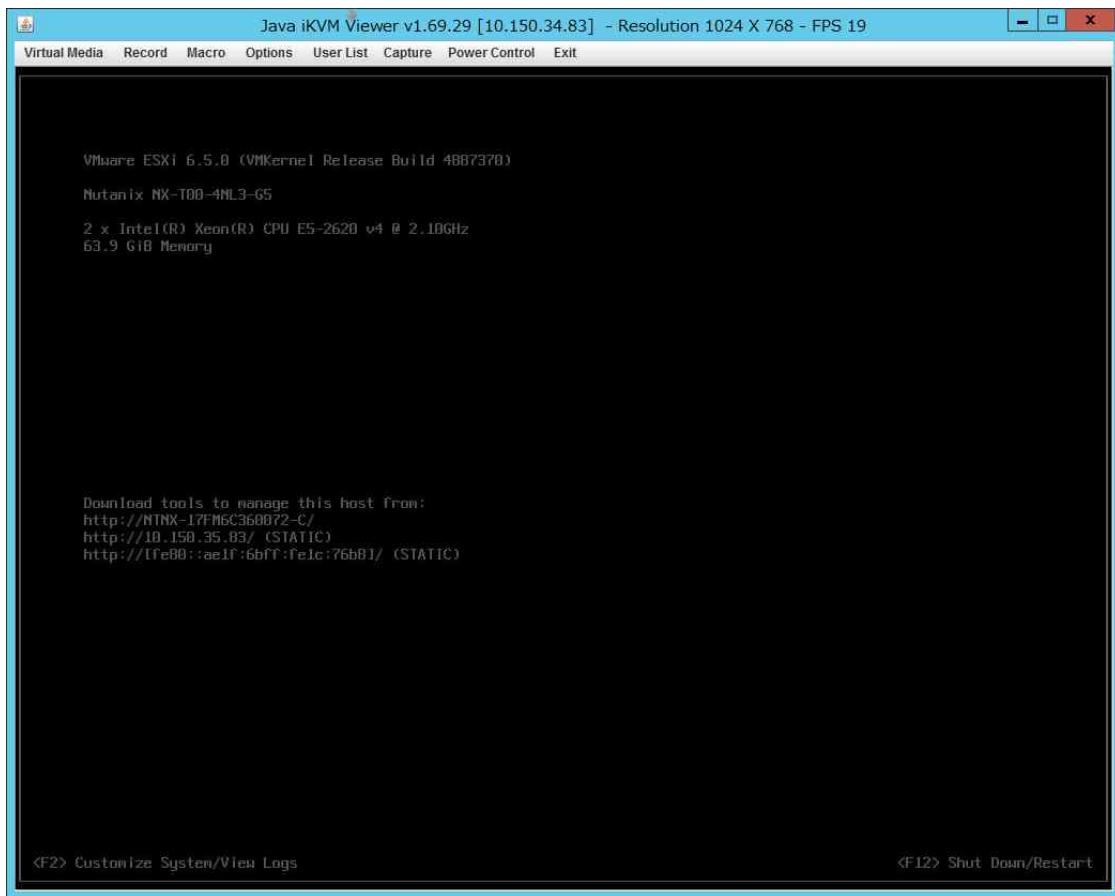
- アプリケーションの起動が開始します。



- アプリケーションの実行を確認するウィンドウが表示された場合は、"実行" を選択します。



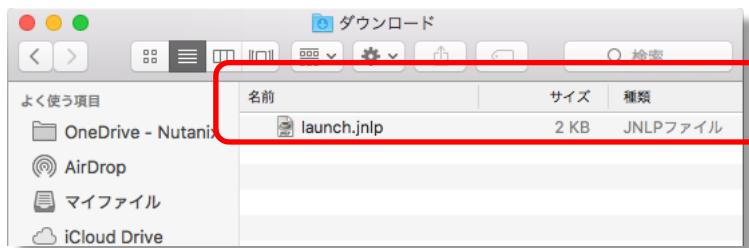
- ・Java iKVM Viewer が起動します。



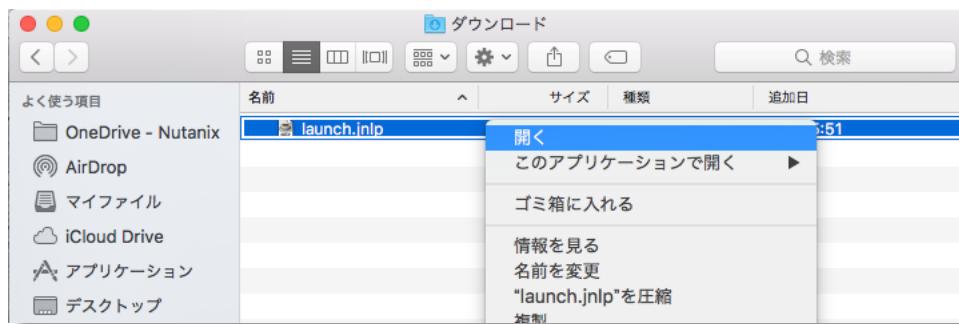
Java iKVM Viewer が正常に起動しない場合は、後述の [Java iKVM Viewer の起動に失敗する場合の確認項目](#) の内容をご確認ください。

(2) Mac OS X 端末の場合

- ・ホストのコンソール画面のプレビュー画面をクリックすると、ブラウザから "launch*.jnlp" という名前のファイルがダウンロードされます。



- ・[Control]キーを押しながら、ダウンロードした "launch*.jnlp" ファイルをクリックし、ショートカットメニューから "開く" を選択します。



- ・セキュリティ警告が表示された場合は "開く" を選択します。
"launch*.jnlp" ファイルをダブルクリックで開くと「開く」が表示されないのでご注意ください。



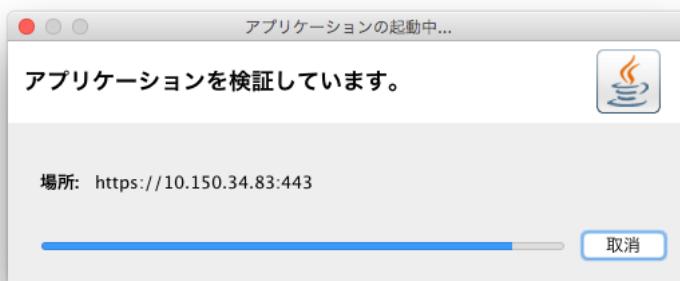
- ・Java が起動します。



- ・セキュリティ警告が表示された場合は "続行" を選択します。



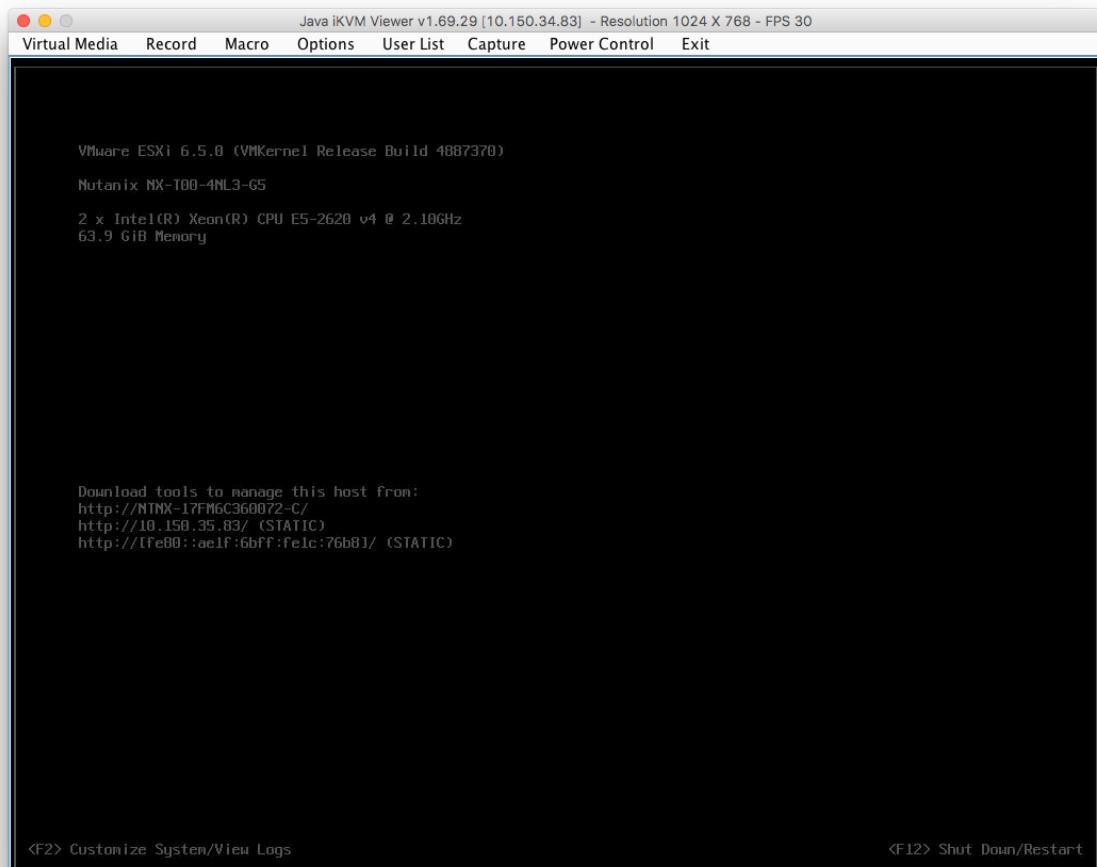
- ・アプリケーションの起動が開始します。



- ・アプリケーションの実行を確認するウィンドウが表示された場合は、"実行" を選択します。



- ・Java iKVM Viewer が起動します。



Java iKVM Viewer が正常に起動しない場合は、後述の [Java iKVM Viewer の起動に失敗する場合の確認項目](#) の内容をご確認ください。

Java iKVM Viewer の起動に失敗する場合の確認項目

1. はじめに、以下の 2 点をご確認ください。

(1) ご利用の PC で Java が有効に設定されていること

コントロール・パネルから Java を有効にするにはどうすればよいですか。

https://www.java.com/ja/download/help/enable_panel.xml

(2) ご利用の Web ブラウザで Java が有効にされていること

Web ブラウザで Java を有効にするにはどうすればよいですか。

https://www.java.com/ja/download/help/enable_browser.xml

2. 上記 2 点が有効に設定されているにも関わらず Java iKVM Viewer の起動に失敗する場合は、発生している状況に応じて下記サイトより解決方法をご確認ください。

Java の問題に対する基本的なトラブルシューティングのヒント

https://www.java.com/ja/download/help/troubleshoot_java.xml

よくある例)

Java セキュリティによってアプリケーションの起動がブロックされる



ポップアップに表示された "詳細情報(M)" にリンクされている以下のページの手順に従って、Java コントロール・パネルの例外サイト・リストに表示されたアドレスを追加します。

信頼できないアプレットやアプリケーションが Web ブラウザでいつ実行されるかを制御するにはどうすればよいですか。

https://java.com/ja/download/help/jcp_security.xml

IPMI Web UI から ISO イメージをマウントする手順

1. Web ブラウザから IPMI Web UI にログオンします。
2. Virtual CD-ROM を開きます。

<G7 以前>

The screenshot shows the NUTANIX IPMI Web UI interface. At the top, there is a header bar with "NUTANIX" logo, host identification (Server: 010.150.033.191, User: ADMIN), and navigation links (Normal, Refresh, Logout, English). Below the header is a navigation menu with tabs: System, Server Health, Configuration, Remote Control, Virtual Media (highlighted with a red box), Maintenance, and Miscellaneous. On the left, there is a sidebar with links: System, System Information, and FRU Reading. The main content area has a "Summary" section displaying system information like Firmware Revision: 03.40, Firmware Build Time: 2015-03-09, and network details. A red box highlights the "Virtual Media" tab in the navigation bar.

<G8>

The screenshot shows the NUTANIX IPMI Web UI interface for G8. The left sidebar has a red box around the "Virtual Media" link under the "System" category. The main content area has two sections: "Floppy Disk" and "Virtual CD-ROM". Under "Virtual CD-ROM", there are fields for "Share Host" (http://10.50.132.5:8000), "Path to Image" (/files/tmp/sessions/20230122-220027-1/phoenix_node_isos/), "Users" (admin), and "Password" (password). There are "Upload" and "Mount" buttons at the bottom of each section. The "Mount" button is highlighted with a red box.

3. マウントするイメージがある Windows Share の IP アドレス、パス、ユーザー名、パスワードを入力して"Mount"ボタンを押します。

<G7 以前>

This screenshot shows the "Image on Windows Share" configuration page. It includes a note about sharing a CD-ROM image over a Windows Share. The "USB Floppy&Flash Status" and "CDROM&ISO Status" are both listed as "No disk emulation set.". There is a "Refresh Status" button. Below this, there are fields for "Share host" (10.150.32.70), "Path to Image" (\NTNX-Tokyo-NFS\ISO_Phoenix\phoenix-3.6.1.iso), "User (optional)" (admin), and "Password (optional)" (*****). At the bottom, there are "Save", "Mount" (highlighted with a red box), and "Unmount" buttons.

<G8>

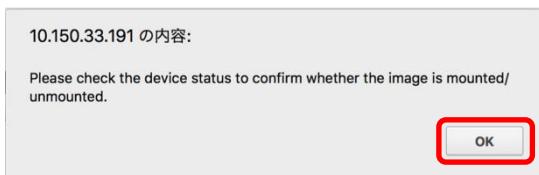
The screenshot shows the Nutanix interface with the following sections:

- Floppy Disk**: A section where you can upload a floppy image file.
- Virtual CD-ROM**: A section where you can set up a virtual CD-ROM. It includes fields for Share Host (10.50.128.20), Path to Image (/Repo/Drivers/VirtIO/Nutanix-VirtIO-1.1.7.iso), Users, and Password (with a note to select an icon to change password). The **Mount** button is highlighted with a red box.

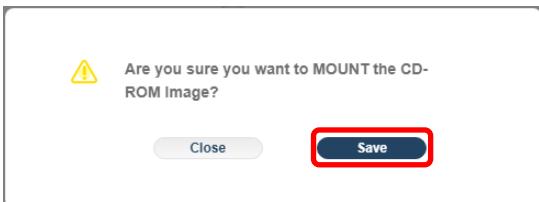
パスワードは緑色の鍵マークをクリックすることで入力できるようになります。

4. 確認用のメッセージが表示されたら、赤枠のボタンを押します。

<G7 以前>



<G8>



5. イメージのマウントが成功した場合は、赤枠のメッセージが表示されます。

マウントできない場合は入力した情報が正しいかどうかご確認ください。

<G7 以前>

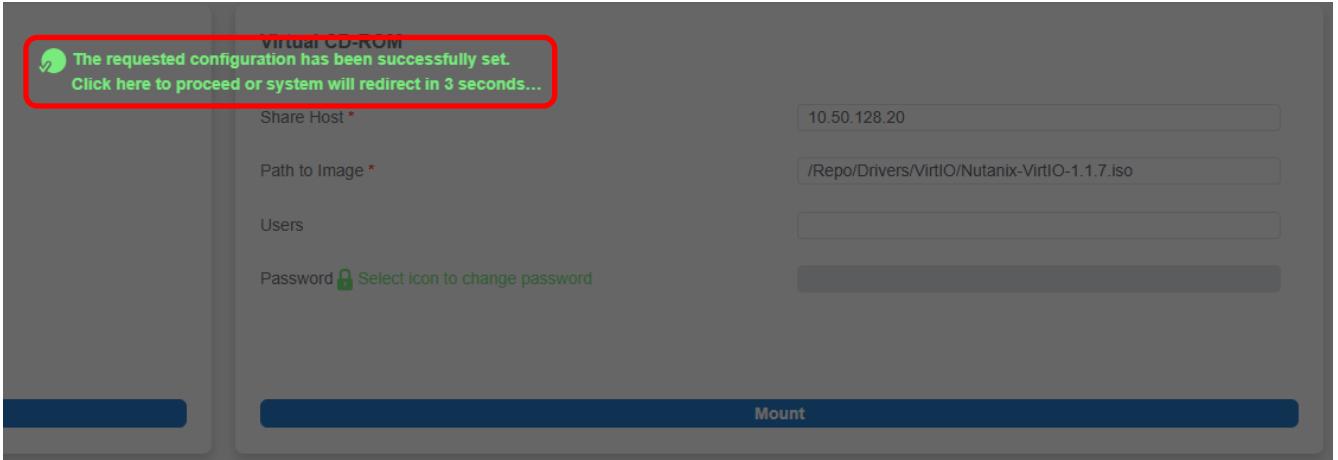
④ Image on Windows Share

This option allows you to share a CD-ROM image over a Windows Share with a maximum size of 4.7GB. This image will be emulated to the host as USB device.

USB Floppy&Flash Status: No disk emulation set
CDROM&ISO Status: There is a disk mounted.

Share host: 10.150.32.70
Path to Image: \NTNX-Tokyo-NFS\ISO_Phoenix\phoenix-3.6.1.iso
User (optional): admin
Password (optional):
Save Mount Umount

<G8>



6. イメージをアンマウントするには 赤枠のボタンを押します。

<G7 以前>

② Image on Windows Share

This option allows you to share a CD-ROM image over a Windows Share with a maximum size of 4.7GB. This image will be emulated to the host as USB device.

USB Floppy&Flash Status	No disk emulation set.
CDROM&ISO Status	There is a disk mounted.
Refresh Status	
Share host	10.150.32.70
Path to image	\NTNX-Tokyo-NFS\ISO_Phoenix\phoenix-3.6.1.iso
User (optional)	admin
Password (optional)	*****
Save	Mount
Unmount	

<G8>

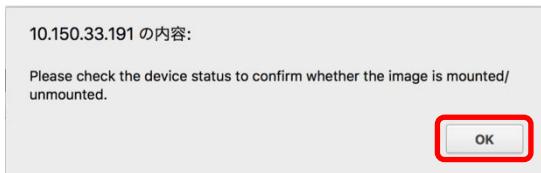
The screenshot shows the Nutanix interface with a sidebar menu. The 'Virtual Media' section is selected. In the main area, there's a 'Status' table:

No	Health Status	Connected Via
Device 1	There is an iso file mounted.	URI
Device 2		
Device 3		

To the right of the status table is a red rectangular box highlighting a small circular icon with a 'U' symbol, which is likely the 'Unmount' button. Below the status table are two sections: 'Floppy Disk' and 'Virtual CD-ROM'. The 'Virtual CD-ROM' section contains fields for 'Share Host' (10.50.128.20), 'Path to Image' (/Repo/Drivers/VirtIO/Nutanix-VirtIO-1.1.7.iso), 'Users' (empty), and 'Password' (with a note to 'Select icon to change password'). A large blue 'Mount' button is at the bottom right.

7. 確認用のメッセージが表示されたら赤枠のボタンを押します。

<G7 以前>



<G8>



8. イメージのアンマウントが成功した場合は 赤枠のメッセージが表示されます。

<G7 以前>

④ Image on Windows Share

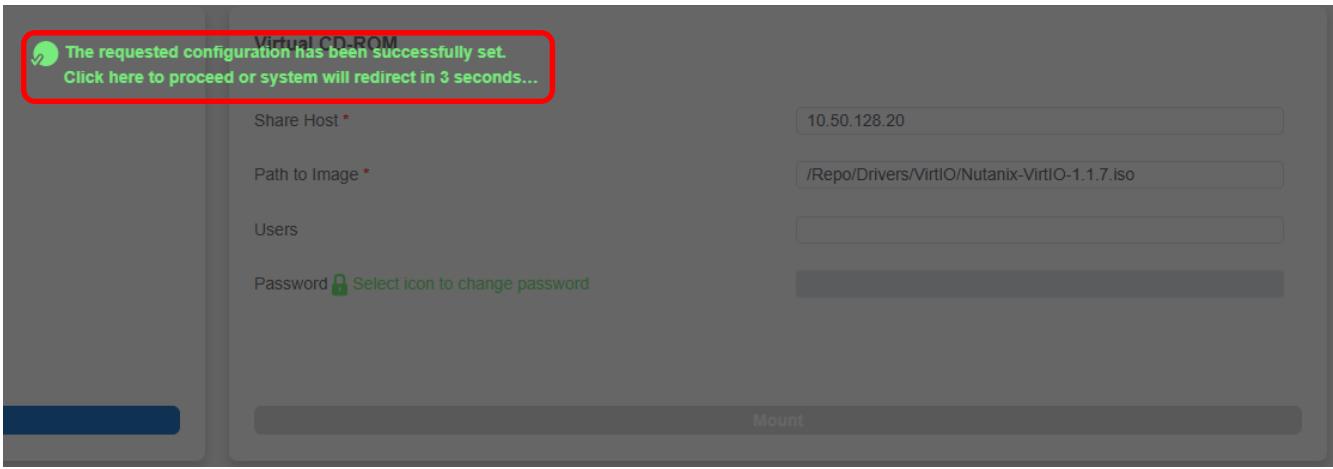
This option allows you to share a CD-ROM image over a Windows Share with a maximum size of 4.7GB. This image will be emulated to the host as USB device.

HDD Floppy&Flash Status	No disk emulation set.
CDROM&ISO Status	No disk emulation set.
Refresh Status	

Share host: 10.150.32.70
Path to image: \\NTNX-Tokyo-NFS\ISO_Phoenix\phoenix-3.6.1.iso
User (optional): admin
Password (optional): *****

Save **Mount** **Unmount**

<G8>

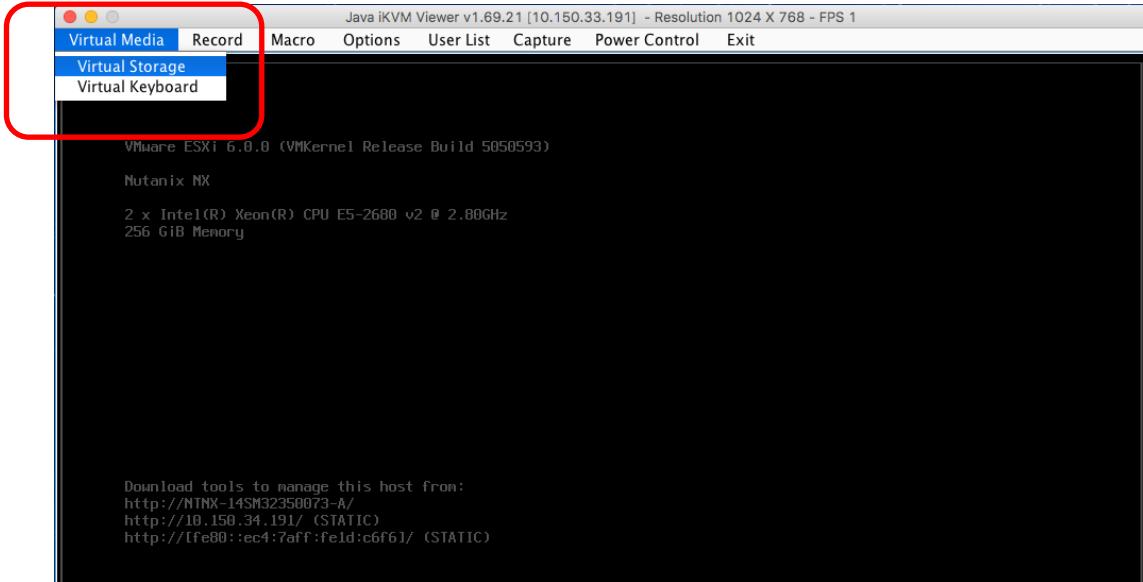


【注】以下の場合、iKVM/HTML5 コンソールも Java iKVM Viewer と同様に“Virtual Media”メニューにて ISO イメージをマウント可能です。

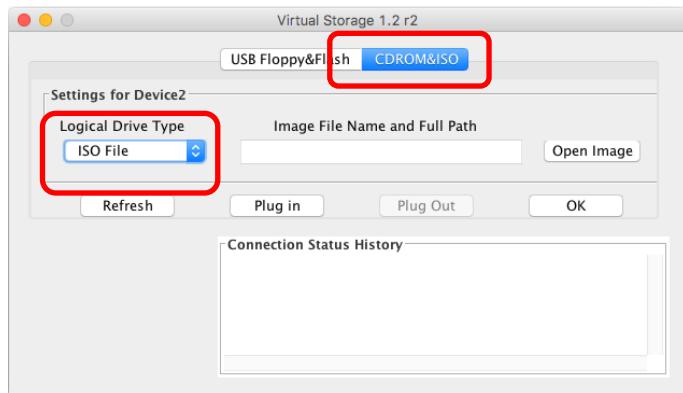
- ・ G6・G7 で BMC 7.11 以降
- ・ G8

Java iKVM Viewer から ISO イメージをマウントする手順

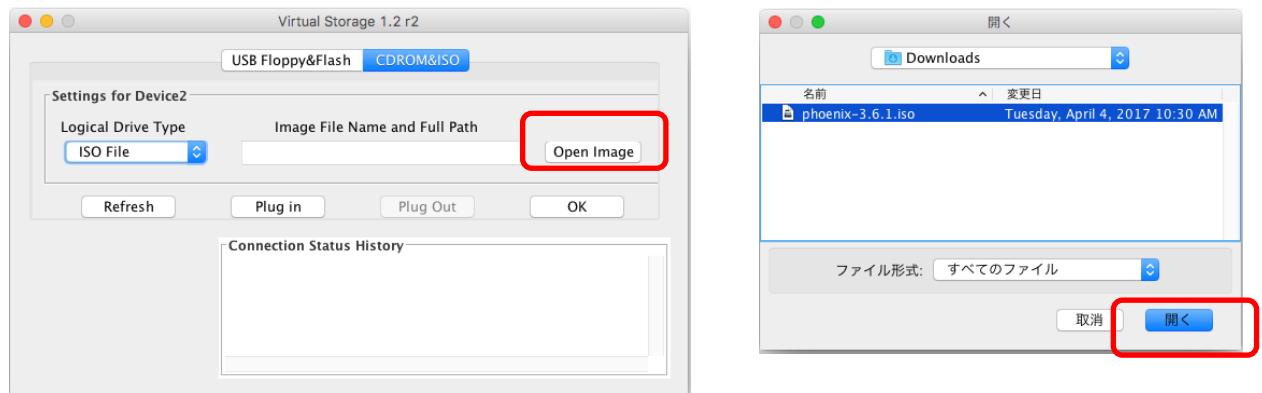
1. 前述の [Java iKVM Viewer の起動手順](#) の手順に沿って Java iKVM Viewer を起動します。
2. “Virtual Media” メニューの “Virtual Storage” をクリックします。



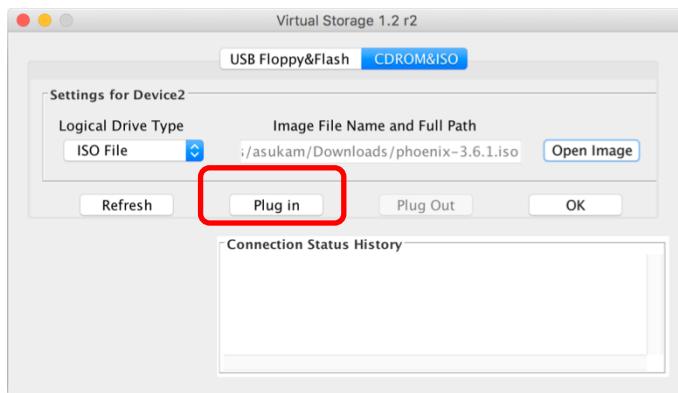
3. 起動したウィンドウで "CDROM&ISO" タブに移動し、"Logical Drive Type" プルダウンで "ISO File" を選択します。



4. “Open Image”ボタンをクリックし、起動したウィンドウでマウントする ISO ファイルを選択します。



5. “Plug in”ボタンを押します。



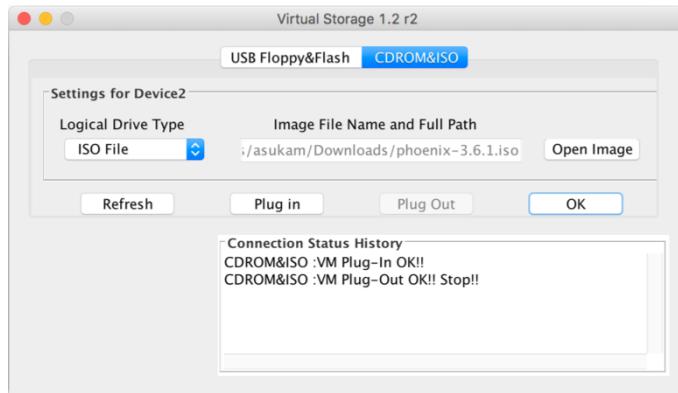
6. 正常にマウントが完了すると“Connection Status History”欄に”VM Plug-In OK!!”というメッセージが表示されます。



7. マウントした ISO イメージをアンマウントするには、"Plug Out"ボタンを押します。

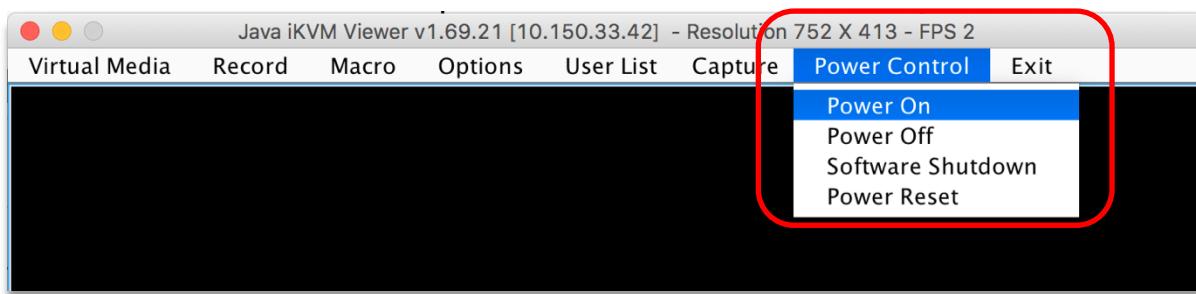


8. 正常にアンマウントが完了すると“Connection Status History”欄に”VM Plug-Out OK!! Stop!!”というメッセージが表示されます。

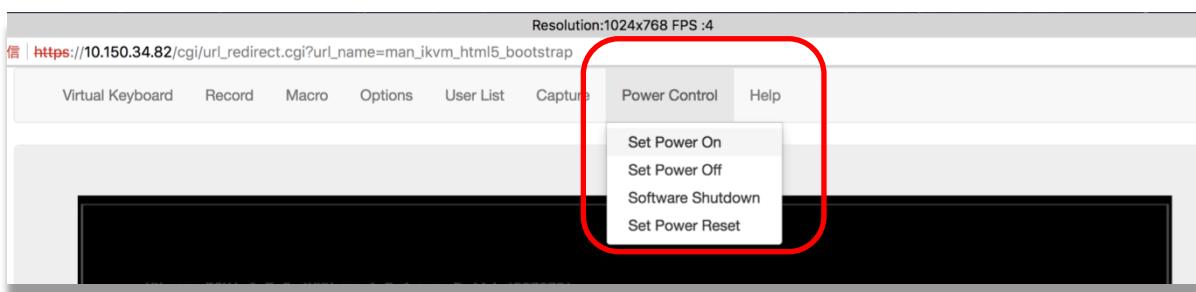


付録：ISO イメージでホストを起動する手順

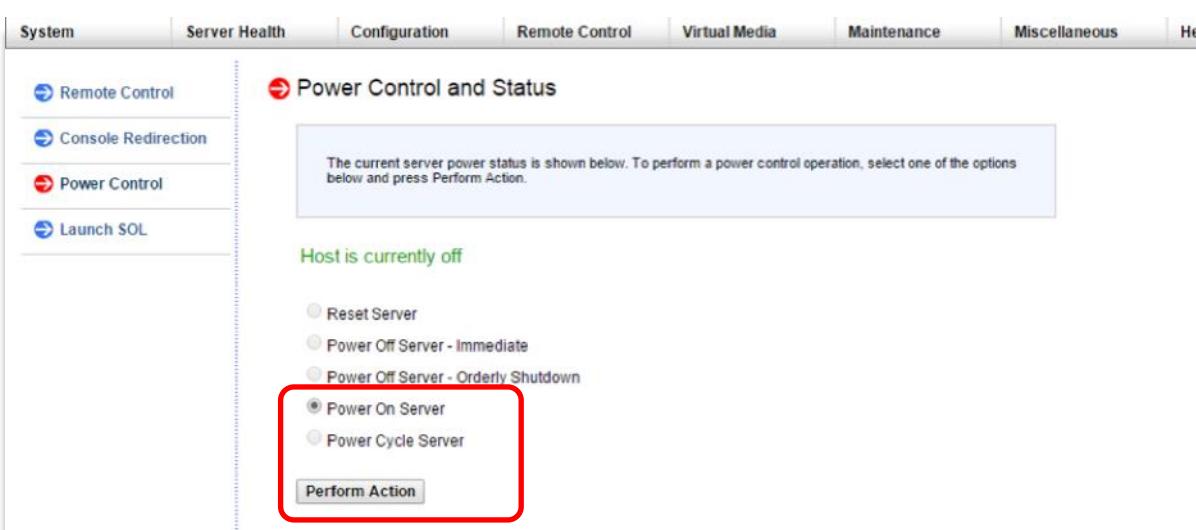
1. ホストがシャットダウンされていることを確認します。
2. 前述の以下のいずれかの手順に従って ISO イメージをホストにマウントします。
 - [IPMI Web UI から ISO イメージをマウントする](#)
 - [Java iKVM Viewer から ISO イメージをマウントする](#)
3. ホストを起動します。
 - Java iKVM Viewer からホストを起動する手順
“Power Control” メニューの “Power On” をクリックします。



- iKVM/HTML5 コンソールからホストを起動する手順
“Power Control” メニューの “Set Power On” をクリックします。



- IPMI Web UI からホストを起動する手順
<G7 以前>
“Remote Control” の “Power Control” を開きます。
“Power On Server” を選択し、 “Perform Action” をクリックします。



<G8>

画面右端の電源ボタンを押下しますと、確認のダイアログが表示されますので、"Power ON"を選択し、"Apply"ボタンを押下します。

The screenshot shows the Nutanix Management Platform interface. On the left, there is a sidebar with navigation links: Dashboard, System, Configuration, Remote Control, and Maintenance. The Maintenance link is currently selected. The main dashboard has several tabs: System, Storage, UID Control, Firmware Update, and Sensor Readings. The System tab is active, displaying system information such as Firmware Version (08.00.06), Firmware Build Time (11/30/2021), and Redfish Version (1.8.0). The Host tab shows Server Host Name, Server IP Address (10.50.136.151), and IPv6 Address 1 (fe80::0:3eec:efffe82:ee94). A Power Consumption chart is present, showing Min Peak, Average Usage, and Max Peak over time. On the far right, there is a vertical toolbar with icons for Power (highlighted with a red box), Configuration, Remote Control, and Help. Below the main dashboard, a modal dialog titled "Power Control" is open, showing a single option "Power ON". At the bottom of the dialog are two buttons: "Cancel" and "Apply".